

報道関係者各位

2020年10月14日

quantum、MONET Technologies が新たに立ち上げた 「MONET LABO」にプロフェッショナル・メンターとして参加

株式会社 QUANTUM (本社：東京都港区、代表取締役社長兼 CEO：高松充、以下「quantum」、読み方：クオインタム) は、ソフトバンク株式会社やトヨタ自動車株式会社などによる共同出資会社である MONET Technologies 株式会社 (本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：宮川潤一、読み方：モネ・テクノロジーズ、以下「MONET」) がこの度新たに立ち上げた、MaaS (Mobility as a Service) 関連の事業開発を支援するプログラム「MONET LABO (モネラボ)」にプロフェッショナル・メンターとして参加いたします。



「MONET LABO」は、MONET が 2019 年に設立した、モビリティイノベーションの実現に向けて加盟企業間の連携を推進することで、移動における社会課題の解決や新たな価値創造を目指した活動を行う企業横断型のコンソーシアム「MONET コンソーシアム」加盟企業に対して MaaS の事業化を促進、支援するサービスをパッケージにして提供するものです。企業のニーズに合わせてビジネス開発から UX、PoC、システム開発まで様々なフェーズにおいて、事業化を促進及び支援するプロフェッショナル・メンターとのマッチングやワークショップの提供などを通して、MaaS 関連の事業を加速させることを目的としています。

今回 quantum は、この「MONET LABO」にプロフェッショナル・メンターとして参加し、これまでスタートアップスタジオとして数多くの新規事業の立ち上げ、またパートナー企業の新規事業開発支援を行う中で得てきた事業開発のノウハウに基づき、「MONET LABO」の会員企業を支援いたします。顧客セグメントの設定と提供価値の定義から、ビジネスモデル・UX 設計、検証計画立案など、構想フェーズから事業ローンチフェーズまで、幅広くサポートしてまいります。

quantum は「MONET LABO」へのプロフェッショナル・メンターとしての参加を通じて、これまで以上に多くの企業の新規事業開発に関する課題を解決し、世の中を明るく、人々の生活を豊かにする新規事業、製品、サービスを引き続き連続的に生み出してまいります。

■MONET LABO について

「MONET LABO」は、自動運転社会の到来を見据えて、MaaS の事業アイデアを具現化することを目的とした MONET のプログラムで、「MONET コンソーシアム」の加盟企業から「事業化に向けて何から始めたら良いか分からない」「事業アイデアはあるが実証するフィールドがない」「自社単独では採算性が見込めない」などの声が寄せられたことを受けて企画されたものです。MONET が企業による MaaS 事業の早期実現を支援することを目的に、パートナー企業の協力の下、「人間中心イノベーション」の事業開発ワークショップやプロフェッショナル・メンターからのサポートの他、自治体や企業とのマッチング機会などをパッケージにして提供します。

■MONET コンソーシアムについて

MONET がモビリティイノベーションの実現に向けた『なかもづくり』の一環として、企業間の連携を推進することを目的に、2019年3月に設立したコンソーシアム。2020年10月時点で、600以上の企業や団体が加盟しています。

●quantum について (<https://www.quantum.ne.jp>)

quantum

quantum は、未来のビジネスを生み出すことにこだわるスタートアップスタジオ。世の中にこれまで無かった新たな価値を提供し、わたしたちの未来を想像の一步先へと塗り替えます。未来のビジネスをくいま、ここで>起動するための様々な専門性を持つ社員と機能を備え、連続的に新しいプロダクトを生み出しています。

<本プレスリリースに関する問合せ先>

quantum 広報:木村俊介・尾形亜季 電話:03-5446-7203 FAX:03-5439-5730 e-mail:info@quantum.ne.jp